

## アジア・アフリカ学術基盤形成事業セミナー実施報告書

平成 23 年 1 月 20 日

独立行政法人日本学術振興会 殿

＜研究代表者・所属機関・氏名＞  
 明治薬科大学・教授・櫻庭 均

セミナー実施報告書を次の通り作成しましたので提出します。

セ ミ ナ ー 名	日本学術振興会・第 1 回創薬セミナー（マニラ）	
開 催 期 間	平成 23 年 1 月 11 日 ～ 平成 23 年 1 月 13 日（3 日間）	
開 催 地	ケソン市（フィリピン） フィリピン大学・海洋科学研究所・セミナー室	
日本側 責任者	氏 名	齋藤直樹（Naoki Saito）
	所属機関・職名	明治薬科大学大学院薬学研究科・教授
開 催 責 任 者  （※日本以外で 開催の場合）	氏 名 （英 文）	Gisela Padilla Concepcion
	所属機関・職名 （英 文）	Marine Sciences Institute, University of Philippines ・ Professor

## セミナーの概要及び成果

### 【概要】

(セミナーの目的、本会経費により参加した参加者の役割や貢献についても示してください)

本セミナーは本事業メンバーによる国際的な創薬セミナーと位置付け、フィリピン側コーディネーターである G. P. Concepcion 教授（フィリピン大学海洋科学研究所）と日本側拠点機関の齋藤直樹教授を中心に企画、準備され、本事業で取り上げた3つの研究課題に関連する研究成果の報告と討議による次年度の事業計画案作成に有用な情報収集に加え、本事業の研究課題に関連する様々な創薬研究について、フィリピン側研究者や大学院生に研究成果発表の機会を提供し、同国で次世代を担う若手研究者の活性化と本事業のさらなる展開をめざした。

セミナーは事業メンバーを中心として学術口頭発表（10件、うち本事業経費招聘者6名を含む事業メンバーの講演9件）、若手口頭発表（10件、うち本事業経費招聘者2名を含む事業メンバーの講演9件）、ショートオーラルプレゼンテーション（SOP）付ポスター発表（8件、事業メンバーによる発表4件）により展開されました。なお、すべての口頭発表の座長は事業メンバーにより行われ、受付、会場、連絡などセミナーはフィリピン大学の大学院生により適切に運営行われた。特に口頭発表後の討議は非常に活発であり、研究成果の客観的評価と問題点の抽出、今後の事業展開に必要な改善策の立案に有効な数多くの助言が得られた。

一方、事業メンバー以外の講演は基調講演（1件）とポスター発表（7件）であった。

なお、セミナーに関わる会計、受付業務補助のため、明治薬科大学から本事業支援組織担当者（2名）が同行した。

### 【成果】

本セミナーの開催により得られた成果を以下にまとめた。

- 本事業に関わる研究者が一堂に会し、本事業で取り上げた研究課題に関連する研究の進展状況を公表することにより、問題点の抽出と改善策の提言、必要に応じて研究計画の再構築などを効果的に行なうことができた。この結果、次年度の研究計画を適切に立案し、その中で研究者の派遣・招聘予定について打ち合わせる手がかりになると期待される。
- SOP（3分以内）はフィリピンで初めての試みであると思われ発表者にやや戸惑いや混乱を生じたが、最終的にこの発表形式は概ね好評であり、今後定着することが期待される。なお、SOP（8件）から選考委員（6名）によるポスター優秀賞を選び表彰した。この企画は受賞者（4名）を含む若手発表者に大きな刺激を与えることができた。
- 本事業の目的と研究背景、研究の展開状況などをフィリピンで広く公表する中で、同国の創薬研究者と顔を突き合わせながら活発に討議することができた。
- セミナーの開催に合わせて、日本側拠点機関である明治薬科大学とフィリピン国立大学は大学間協定書に調印した。これにより双方の研究者や大学院生の行き来が活発になることが予想され、今後、共同研究のさらなる展開が多いに期待される。中でも、フィリピンの青色海綿の生態調査と採集、含有成分の探索研究は研究課題2に関連する創薬研究において大変重要な位置を占めており、その展開が待ち望まれる。
- セミナー開催期間中、本事業の拠点機関（日本とフィリピン、タイ、及びインド）コーディネーターを中心とした連絡協議会を開催し、本年度事業報告と次年度計画（案）の作成、及び次回セミナーの開催地と開催時期について討議することができた。

○参加者

① 「事業メンバー参加研究者リスト」参加者数 24 人

No.	研究者 番号	氏名	所属	経費負 担区分*	備考
1	1-1	櫻庭 均	明治薬科大学	A	oral
2	1-2	齋藤 直樹	明治薬科大学	A	oral, chair
3	1-3	杉田 隆	明治薬科大学	A	oral, chair
4	1-7	兎川 忠泰	明治薬科大学	A	oral (YOP), chair
5	1-8	小山 清隆	明治薬科大学	A	oral, chair
6	1-9	鈴木 俊宏	明治薬科大学	A	oral (YOP)
7	1-13	月村 孝宏	明治薬科大学	A	SOP (ポスター優秀賞)
8	1-14	鳥海 悟	明治薬科大学	A	SOP (ポスター優秀賞)
9	2-1	Khanit Suwanborirux	チュラ大・薬	A	oral, chair
10	2-3	Taksina Chuanasa	チュラ大・薬	C'	oral (YOP)
11	2-10	Anuchit Plubrukarn	プリンス・ソンクラ薬	C'	oral (YOP), chair
12	2-16	Nanthawan Mekha	国立衛生研究所	C'	oral (YOP)
13	3-1	Yogender K. Gupta	全インド医科学研究所	A	oral, chair
14	3-2	Surender Singh	全インド医科学研究所	A	oral (YOP)
15	4-1	Gisela P. Concepcion	フィリピン大学・海洋	C	oral, chair
16	4-2	Jan-Michael C. Cayme	フィリピン大学・海洋	C	SOP (SP03)
17	4-3	Joshua Rey P. Torres	フィリピン大学・海洋	C	SOP
18	4-6	Hilbert D. S. Magpantay	フィリピン大学・海洋	C	運営補助
19	4-7	Louvy Lyn C. Punzalan	フィリピン大学・海洋	C	運営補助
20	4-8	Evangeline C. Amor	フィリピン大学・海洋	C	oral (YOP)
21	4-9	Christine Heranandez	フィリピン大学・海洋	C	oral (YOP) (PP13)
22	4-10	Maribel G. Nonato	サント・トーマス大・薬	C	oral
23	4-11	Cristina Ramos	サント・トーマス大・薬	C	聴講
24	4-12	Euis Holisotan Hakim	バンドン工科大学・理	C'	oral

\*経費負担記号：

A: セミナー経費より負担 B: 共同研究・研究者交流より負担

C: 本事業経費から負担しない C': Cのうち明治薬科大学 AACDD 運営費から負担

D: 本事業経費（委任経理金）より負担

なお、セミナー実施にあたり、明治薬科大学より 2 名の事務方支援者を派遣し、その運営・会計処理などをおこなった。2 名の渡航・滞在費用は本事業の委任経理費から支給した。

参加者数総表

		実績	参考：本年度実施計画（案）
派遣先		フィリピン（マニラ）	
派遣元 日本	A	8/32	6/24
	B	0/0	0/0
	C	4/16	3/12
タイ	A	1/4	4/16
	B	0/0	0/0
	C	3/12	0/0
インド	A	2/8	4/16
	B	0/0	0/0
	C	0/0	0/0
フィリピン	A	0/0	0/0
	B	0/0	0/0
	C*	3/12	7/28
合計	A	11/44	14/56
	B	0/0	0/0
	C	10/40	10/40

\*フィリピンの協力研究者として本事業に参加している Euis Holisotan Hakim 教授（バンドン工科大学・理学部）及び主催教室からセミナーに招聘した。なお、明治薬科大学アジア・アフリカ創薬研究センター運営費から経費を支給した。なお、事業メンバーのうち、開催国メンバーに対する渡航滞在費は全く支給していない。

② 「参加者研究者リスト」に記入されていない一般参加者数 92 人

#### 国別内訳

日本	6	名
インドネシア	3	名
米国	1	名
フィリピン	82	名
合計	92	名

参考資料として一般参加者名簿を添付しました (p 10~12)。

#### ○ 日程及び課題

セミナーの名称

**日本学術振興会・第1回創薬セミナー (マニラ)**

**JSPS 1st Medicinal Chemistry Seminar of Asia-Africa Science Platform Program**

主催 日本学術振興会

協賛 明治薬科大学アジア・アフリカ創薬研究センター

コメント：本セミナーは「天然物をキーワードとするアジア地域創薬ネットワーク形成をめざして」という課題のもと、本事業メンバーが中心となり実施しました。概要は添付した講演要旨集を参照していただきたいと思いますが、以下に示す理由からプログラムの一部に変更がありました。なお、本セミナーの開催を利用して日本側拠点機関である明治薬科大学とフィリピン側拠点機関であるフィリピン大学は平成23年1月12日に学部間協定 (MOU & MOA) を締結いたしました。

セミナー参加者のうち、Dr. Surender Singh 氏 (全インド医科学研究所・講師) が体調を崩されたため、以下に示すようにプログラムを変更いたしました。

#### 座長の変更

2011/01/12 15:20-16:50 Dr. Surender Singh → Dr. Khanit Suwanborirux

2011/01/13 11:20-12:10 Dr. Khanit Suwanborirux → Dr. Y. K. Gupta

#### 講演順序の入れ替え

2011/01/12 15:35-15:50 Dr. Surender Singh (YL-02) → Dr. Tadayasu Togawa (YL-09)

2011/01/13 10:45-11:00 Dr. Tadayasu Togawa (YL-09) → Dr. Surender Singh (YL-02)

提出物：講演要旨、筆記用具、名札、手提げ袋

実施結果（実際に行った時定）

2011/01/11(Tuesday)

- 18:30～ Registration  
19:00 Welcome Dinner : セミナー準備状況の最終確認と海外招聘者との  
事前打ち合わせ

2011/01/12 (Wednesday)

- 8:45 Welcome Remarks Dr. Gisela P. Concepcion (UP)  
8:50 Opening Remarks Dr. Naoki Saito (MPU)  
9:00～9:20 MOU & MOA sign up Ceremony  
President, Dr. Akinori Kubo (MPU)  
Chancellor, Dr. Sergio Cao (UP)  
9:30～10:20 *First Session* Chair: Dr. Maribel Nonato (UST)  
9:30～9:55 Development of diagnosis and therapy for lysosomal diseases  
**L01** Dr. Hitoshi Sakuraba (MPU, JPN)  
9:55～10:20 Potential of natural products for cognitive impairment  
**L02** Dr. Y. K. Gupta (AIIMS, India)  
10:30～10:45 Coffee Break  
10:45～12:00 *Second Session* Chair: Dr. Naoki Saito (MPU)  
10:45～11:10 New strategy for the development of antifungal agents  
**L03** Dr. Takashi Sugita (MPU, JPN)  
11:10～11:35 Investigation on Thai Marine Organisms for Drug Discovery  
**L04** Dr. Khanit Suwanborirux (Chulalongkorn U. Thailand)  
11:35～12:00 Anti-angiogenic metabolites from natural sources  
**L05** Dr. Kiyotaka Koyama (MPU, JPN)  
12:00～13:20 Lunch  
13:20～13:50 *Poster Short Oral Presentation* Conductor: Dr. Takashi Sugita  
13:20～13:25 Explanation how to do individual presentation  
13:27～13:29 High-risk screening for Fabry disease in Japan  
**SP01** Takahiro Tsukimura (MPU, JPN)  
13:30～13:32 Studies on preparation and cytotoxicity of 2'-N-acyl derivatives of  
**SP02** ecteinascidin 743  
Satoru Toriumi (MPU, JPN)  
13:33～13:35 Chemical characterization of isolated compounds from sponge-associated

**SP03**microorganisms

- Jan-Michael C. Cayme (UP, Philippines)
- 13:36~13:38 **SP04** Chemical characterization of antibacterial compounds from sponge-associated microorganism  
Cacharel Mic M. Ballero (UP, Philippines)
- 13:39~13:41 **SP05** Marine mollusk-associated bacteria as sources of drug leads and enzymes for biomass conversion  
Joshua Rey P. Torres (UP, Philippines)
- 13:42~13:44 **SP06** Secondary metabolites from cultured mycobiont of lichen, *Cladonia bellidiflora*  
Yasuko Arai (MPU, Japan)
- 13:45~13:47 **SP07** Bioactive compounds from tropical fruits: *Dimocarpus longan* Lourr. and *Garcinia mangostana* Linn.  
Elvira Hermawati (ITB, Indonesia)
- 13:48~13:50 **SP08** New alkaloids from the roots of *Pandanus amaryllifolius*  
Mario A. Tan (UST, Philippines)

以上 8 件から以下に示す選考委員会により青字で示した 4 件がポスター優秀賞に選ばれた。

*The Organizing Committee of Excellent Poster Presentation Award*

委員長 : Dr. Gisela P. Concepcion

Dr. Hitoshi Sakuraba; Dr. Naoki Saito; Dr. Khanit Suwanborirux; Dr. Y. K. Gupta;  
Dr. Euis Holisotan Hakim; Dr. Maribel G. Nonato

- 14:00~15:10 *Poster Presentation (SP01 ~08 & PP09 ~15)*
- PP-09** Renieramycin marine natural products. Novel structure of renieramycin V  
Mayuko Mori (MPU, JPN)
- PP-10** KDR Inhibitors from *Garcinia mangostana*  
Tomoko Suzuki (MPU, JPN)
- PP-11** Extraction, purification and chemical characterization of antiviral compounds from sponge-associated microorganism  
Jessa Mae M. Laude (UP, Philippines)
- PP-12** Anti-inflammatory and anti-angiogenic activities of lipids from Purslane (*Portulaca oleracea* L.)  
Jeella Z. Acado (UP, Philippines)
- PP-13** Xanthine oxidase inhibitors from selected Philippine plants  
Maria Karmella Apava (UP, Philippines)
- PP-14** Synthesis of heptopeptide analogues of anoplin with potential

- antibacterial properties  
Genalyn Alice R. Vilorio (UP, Philippines)
- PP-15** Lipoxygenase inhibitory potential of selected Philippines plants  
Noemi Paguigan (UP, Philippines)
- 15:40~17:10 *Young Stars Oral Presentation Part 1*  
Chair: Dr. Tadayasu Togawa (MPU)  
Dr. Khanit Suwanborirux (CU)
- 15:40~15:55 Chemical constituents of Eleutherine Americana and *Seleginella*  
**YL-01** *doederrleinii*  
Dr. Lia Dewi Juliawaty (ITB, Indonesia)
- 15:55~16:10 Globotriaosylsphingosine as a new biomarker of Fabry disease  
**YL-09**  
Dr. Tadayasu Togawa (MPU, JPN)
- 16:10~16:25 Bioactive chalcones from *Syzygium samarangense*  
**YL-03**  
Dr. Evangeline C. Amor (UP, Philippines)
- 16:25~16:40 Potential enzyme inhibitors from selected Philippine medicinal plants  
**YL-04**  
Dr. Christine Hernandez (UP, Philippines)
- 16:40~16:55 Trisoxazole macrolides and their allocation in the sponge *Pachastrisso nux*  
**YL-05**  
Dr. Anuchit Plubrukarn (PSU, Thailand)
- 16:55~17:10 Metagenomic screening for genes involved in biosynthesis of renieramycin M  
**YL-06**  
Dr. Taksina Chanasa (Chulalongkorn U., Thailand)
- 17:10~18:10 *Keynote Speech* Chair Dr. C. P. Concepcion(UP)  
**KL01** Therapeutic and diagnostic potential of natural products affecting the nervous system: cone snail venom peptides, a case study  
Dr. Baldomero Olivera (University of Utah, United State of America)
- 2011/01/13 (Thursday)
- 9:00 ~10:15 Third Session Chair Dr. Kiyotaka Koyama (MPU)
- 9:00~9:25 Chemical profile of Indonesian *Cryptocarya* plants  
**L06**  
Dr. Euis Holisotam Hakim (ITB, Indonesia)
- 9:25~9:50 Bioactive constituents from Philippine medicinal plants  
**L07**  
Dr. Irene Villasenor (UP, Philippines)
- 9:50~10:15 The road ahead for Pandanus drug discovery  
**L08**  
Dr. Maribel Nonato (UST, Philippines)
- 10:15~11:15 *Young Stars Oral Presentation Part 2*  
Chair: Dr. Lia Dewi Juliawaty (ITB)  
Dr. Anuchit Plubrukarn (PSU)



10:15～10:30	A PEGylated indocyanine green (ICG)-labeled anti-HER1 antibody for optical imaging of cancer exhibits improved solution specition and Spectroscopic characteristics	
<b>YL-07</b>		Dr. Aaron Joseph Villaraza (UP, Philippines)
10:30～10:45	Molecular epidemiological investigation of an emerging fungal infection in Thailand	
<b>YL-08</b>		Ms. Nanthawan Mekha (NIH, Thailand)
10:45～11:00	Efficacy of plant products in experimental models of arthritis	
<b>YL-02</b>		Dr. Surender Singh (AIIMS, India)
11:00～11:15	MicroRNA expression profiling drug resistant lung cancer cell lines	
<b>YL-10</b>		Dr. Toshihiro Suzuki (MPU, JPN)
11:15～11:30	Coffee Break	
11:30～12:20	<i>Final Session</i>	Chair Dr. Y. K. Gupta (AIIMS)
11:30～11:55	Development of new antitumor agents based on marine alkaloids and an approach to reveal the biological actions of these compounds	
<b>L09</b>		Dr. Naoki Saito (MPU, Japan)
11:55～12:20	Therapeutic leads from sponges, turrid snails and their microbial symbionts	
<b>L10</b>		Dr. Gisela P. Concepcion (UP, Philippines)
12:20～12:35	Closing Remarks	Conductor Dr. Naoki Saito, Ph. D.
		Dr. Akinori Kubo (President, MPU, JPN)
12:35～12:45	A Certificate of Commendation for the Excellent Poster Presentation Award	
		Ms. Elvira Hermawati (SP07); Mr. Mario A. Tan (SP08); Mr. Satoru Toriumi (SP02); Mr. Takahiro Tsukimura(SP01)
12:45～14:00	Lunch	
18:30～	Farewell Banquet	

各国のコーディネーターで協議した結果、次年度のセミナーは10月中旬にニューデリーで行うことに決定した。

開催予定期間	2011年10月20日(木)～22日(土)
開催場所	全インド医科学研究所
組織委員会	Y. K. Gupta & Hitoshi Sakuraba
実行委員会	Surender Singh & Naoki Saito

参考添付資料（「参加者研究者リスト」に記入されていない一般参加者内訳）

赤字はセミナーで発表または共同研究者として参加したものである。

No.	国	氏名	所属	経費負担区分	備考
1	日本	久保 陽徳	明治薬科大学	C'	協定調印、挨拶
2	日本	市川 肇	明治薬科大学	D	運営（委任経理金）
3	日本	垣尾 将貴	明治薬科大学	D	会計（委任経理金）
4	日本	森 悠子	明治薬科大学	C'	poster
5	日本	新井 靖子	明治薬科大学	C'	SOP
6	日本	塩崎 智子	明治薬科大学	C'	poster
7	インドネシア	Lia Dewi Juliawaty	バンドン工科大学・理	C'	YOP, chair
8	インドネシア	Elvila Hemawati	バンドン工科大学・理	C'	ASOP（ポスター優秀賞）
9	米国	Baldomero Olivera	ユタ大学		基調講演

#### フィリピン

	氏名	所属	敬称	備考
10	Irene Vellaseñor	フィリピン大学	Dr	口頭発表
11	Aaron J. Villaraza	フィリピン大学	Dr.	YOP 准教授
12	Alcantara Charmine	フィリピン大学	Bs	大学院生
13	Alonzo Gabriel	フィリピン大学	Dr.	講師
14	Arlyn Sanchez		Ms	実験助手
15	Aelene P. Bartolomo	フィリピン大学	Ms	実験助手
16	Badang Maria Cleofe	フィリピン大学	Dr.	教授
17	Bigol Ursela	フィリピン大学	Ms	大学院生
18	Cabansag Ryan	フィリピン大学	Dr	教授
19	Cacharel M. M. Ballero	フィリピン大学	Ms	助手 (SP04)
20	Caesor Salone			
21	Carla A. Omago	フィリピン大学	Ms	大学院生
22	Caemela C. Fener	フィリピン大学	Ms	大学生
23	Charisse Reyes	フィリピン大学	Dr.	講師
24	Christ John Pastor	フィリピン大学	Mr	大学院生
25	Christina Salvador	フィリピン大学	Mr	実験助手
26	Ciarla Lim	フィリピン大学	Ms	実験助手
27	Dorothy C. Peruelo	フィリピン大学	Ms	博士研究員
28	Djanna Comago	フィリピン大学	Mr	大学院生
29	Elisa Belen	フィリピン大学		
30	Eugenia L. Rapsing	フィリピン大学		
31	Evelyn B. Rodriawez	フィリピン大学	Dr	教授 (PP12)

32	Florika Macazo	フィリピン大学	Mr	大学院生
33	Fides Angeli Zaulda	フィリピン大学	Ms	助手
34	Foronda Janiza Lianne	フィリピン大学		実験助手 (SP03, 04) (PP11)
35	Forteza Imelda	フィリピン大学	Ms	研究員
36	Florian R. D. Mondo	フィリピン大学	Dr.	教授
37	Garny Benico	フィリピン大学	Ms	大学生
38	Genalyn Alice R. Vilorio	フィリピン大学	Ms	大学生 (PP14)
39	Gian P. Marquez	フィリピン大学	Ms	大学院生
40	Heide Rabanes		Dr.	大学院生
41	Irene Oca	フィリピン大学		
42	Iris B. Ramiro	フィリピン大学	Ms.	実験助手
43	Jeella Z. Acedo	フィリピン大学	Mr	実験助手 (PP12)
44	Jessa Mae M. Laude	フィリピン大学	Ms	研究員 (PP11)
45	Joe Reyes	フィリピン大学	Mr	大学生
46	Jason A. Eusebio	フィリピン大学	Mr	大学院生
47	Jortan Tun	フィリピン大学	Mr	研究員
48	Joshua Rey T. Torres	フィリピン大学	Mr	研究員 (SP05)
49	Lovelyn Melos	フィリピン大学		研究員
50	Joven Ramierez	フィリピン大学	Mr	助手
51	Jreue Villascinor	フィリピン大学	Dr.	教授
52	Juran J. Bulang	フィリピン大学	Mr	大学生
53	Julius V. Saluria	フィリピン大学	Mr	
54	Kalhleen Beverly	フィリピン大学	Ms	技術者
55	Krichi May Cabacaba	フィリピン大学	Mr	研究員
56	Ladie K. Dela Cruz	フィリピン大学	Ms	実験助手
57	Lito Argayosa		Ph. D.	教授
58	Louie Carpio	フィリピン大学	Mr	大学院生
59	Ma Desiree Aldemita	フィリピン大学	Dr.	講師
60	Ma Gwen J. Limbaco	フィリピン大学	Ms	大学院生
61	Mafel C. Ysrael	フィリピン大学	Dr.	研究員
62	Malem Flores	フィリピン大学	Ms	大学院生
63	Maria Karmella Apaya	フィリピン大学	Ms	実験助手 (PP13)
64	Marco N. Montano	フィリピン大学	Dr.	教授
65	Marco de Leon	フィリピン大学	Mr	大学院生
66	Mario A. Tan	サント・トーマス大	Dr	講師 (SP0)
67	Maroco Paolo Jacinto	フィリピン大学	Ms	技術者
68	Mary Anne Ammon	フィリピン大学	Ms	大学院生 (SP05)

69	Mary Anne Torio	フィリピン大学	Dr	教授
70	Mary Grace Galang	サント・トーマス大	Ms	大学院生
71	Marvin D. Naing	フィリピン大学	Mr	実験助手
72	Marvin Altamia	フィリピン大学	Mr	助手
73	Melfeb Chicote	フィリピン大学	Mrs	研究員
74	Mejune Chicote	フィリピン大学	Mr	研究員
75	Migvel Azcuna	フィリピン大学	Mr	大学院生
76	Mitchell R. P. Toleco	フィリピン大学	Ms	大学院生
77	Monotwa Wilobno	フィリピン大学	Dr	教授
78	Nede Bargi	フィリピン大学		
79	Nina Mae Dela Cruz	フィリピン大学		実験助手
80	Nomei Paguigan	フィリピン大学	Ms	実験助手 (PP15)
81	Patrick Fernandez	フィリピン大学	Ms	技術者
82	Portia M. G. Sabido	フィリピン大学	Dr	講師 (PP14)
83	Rhodora V. Azanza	MSA	Bs	教授
84	Romelisa A. Ibale	フィリピン大学	Ms	大学生
85	Rorerto Katigbak	フィリピン大学	Ms	研究員
86	Rowena Antemano	フィリピン大学	Dr	博士研究員
87	Ruby Janet Ortiz	フィリピン大学	Ms	実験助手
88	Salum Agari	フィリピン大学	Dr	教授
89	Singh Randolph	フィリピン大学	Mr	教員
90	Tessa Salid-Bawista	フィリピン大学	Bs	教授
91	Warren S. Vidar	フィリピン大学	Mr	大学院生